

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	①地域の一人となり、地域に根付くよう努力している。 ②ホーム理念、ユニット目標、月間目標がある。 ③地域に根付くホーム作りに取り組んでいる。	○ ・地域行事への参加、ホーム行事への地域の方々の参加。 ・年2回の地域住民参加による避難訓練の実施。 ・2ヶ月ごとの地域推進会議の実施。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	①ホーム理念を掲げ、ユニット目標、個人目標を掲げている。 ②毎月の目標を掲げ、チームケアを反映できるように図っている。	○ 年間ごとのユニット目標、月間目標、個人目標を掲げ、目標設定後の評価、個人面談を実践し、よりチームケアに努めたい。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	①ホーム玄関に理念を掲示、ユニット目標をホールに掲げている。 ②パンフレット、ホーム便りに記載している。 ③入居時に説明しており、パンフレットにも記載している。 ④地区推進会議録、ホーム便りに記載し、配布している。	○ 広報誌、推進会議資料に毎回掲載し、周知を図れるようにしたい。
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	①ホーム行事をお知らせし、地域の方達と交流できるようにしている。玄関にも気軽に立ち寄れるような看板を下げ交流することに努めている。 ②地域の方々に推進会議、消防訓練に参加していただくよう、お願いしている。 ③地域の方々の見学や相談、ボランティア実習の受け入れをしている。 ④ボランティア実習生を受け入れる際には、個人情報守秘義務の厳守をさせていただいている。	○ ・地域の行事には声を掛けて頂き、等参加させていただいている。 ・「夏祭り」には地域の協力により、交流を深める事ができた。 ・ご近所の方からは花や果物等々をいただき、いつも気にかけて頂いている。 ・ボランティア実習生の受け入れ時、プライバシーへの配慮の説明をしている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
5	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	①毎年、外部評価関連の資料およびアンケート内容を周知している。 ②上記の結果を回覧し、アドバイス事項は一覧にしている。 ③月1回の職員会議で、具体的な改善項目の提案。 ④ケア業務の中で、改善事項について取り組んでいる。	○ ・評価を謙虚に受け止め、よりいっそうの資質向上の為、取り組んでいる。 ・昨年度の評価内容と改善項目は、ホーム全体で取り組んでいる。
6	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	①事前に開催日を御知らせし、参加をお願いしている。 ②会議毎にテーマを設け、意見をいただいている。 ③都度、自己評価の結果について説明している。 ④外部評価の結果を具体的に説明している。 ⑤会議では、都度改善事項について意見交換をしている。	○ 推進会議記録を参加メンバーではない御家族へも配布し、ホームの取り組みを理解していただけるようにしている。
7	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	①市町村へ地区推進会議録、ホーム便りを提出している。 ②自己評価、外部評価の結果を報告及び提出している。 ③毎月利用者状況の報告と推進会議への参加をお願いし、不明事項は指導を仰ぐ。	○ 推進会議資料、月1回の入居者状況を報告している。
8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	①研修参加により理解を深めている。 ②伝達研修を行い、理解を深めている。 ③都度、必要に応じて支援を行っている。	○ 必要と思われる家族に情報提供し活用できるよう支援していきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
9 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	①外部研修後、内部研修において理解を深め、取り組んでいる。 ②虐待マニュアルの設置（内容・対応の流れ・発見チェックリスト）。 ③ヒヤリハット等は、ホーム内での取り決めがある。 ④職員の理解度に差がある。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待は暴力だけではなく、言葉、態度、無視等も虐待に入ることを学ぶようにする。 ・身体虐待のみではなく「施錠」「プライバシー」も虐待になることを説明している。 ・家族へも誤解のないよう多少の傷、内出血であっても説明をしている。
4. 理念を実践するための体制			
10 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	①契約時、パンフレットを提示し説明している。 ②契約時、要望希望等を聞いている。 ③都度、説明し同意書をいただいている。 ④入居時、退去時、十分に説明をし同意を得ている。 ⑤ケアマネージャーが、都度対応している。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時は家族の時間に合わせ何度でも説明に伺っている。 ・契約内容の変更があった場合は都度同意を得ている。 ・退去時も十分に説明を行い不安を生じないように配慮し、一方的な説明にならないようにしている。
11 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	①入居時、意見・苦情に関して説明している。 ②意見苦情等が発言しやすいよう環境づくりをしている。 ③プライバシーの配慮に努めている。 ④苦情等の意見があった場合、管理者、職員と情報交換する。 ⑤情報交換の内容を回覧し、全職員周知に努めている。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情の言える、出せるホーム作りを確立させたい。 ・苦情は職員の学びの一環として受けたい。
12 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	①季節毎のホーム便り、葉書で近況報告を実施している。 ②電話での近況報告をしている。 ③面会時、「近況報告」と「小遣い帳」を確認していただきサインを頂いている。 ④変化があったときは家族に連絡し家族の要望も取り入れ対応している。	○	提供内容に変化があった場合は報告と同意書を記載していただいている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
13	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	①面会時呼びかけをし、意見を出し易い環境にしている。 ②受付を窓口として、苦情受付ポストを用意している。 ③玄関に資料として明記している。 ④都度、ホーム便りなどで知らせている。 ⑤都度検討し、ケアサービスに取り組んでいる。	○	家族には面会時前回と比べて変わった事はないか、希望、要望はないかお聞きしている。
14	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	①組織図形式で経営者、管理者、スタッフと意見が反映される仕組みとなっている。 ②定期的に職員会議を設けている。	○	・定例会議の内容を反映させていきたい。 ・施設長の定期的な訪問があり意見を出せるシステムとなっている。
15	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	①2F職員の応援、休日職員の確保など職員の理解を得ている。 ②準夜勤体制を新設し、対応している。 ③急な休みの場合は、当日16時までの電話連絡を義務付けしスムーズな連絡体制を作っている。 ④都度、必要に応じて対応している。	○	ホーム近辺順での緊急連絡網があり緊急時の対応は可能となっている。
16	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	①職員の配置換え時は事前回覧、紹介を行い理解を得ている。 ②入居者全員に説明している。 ③終始、徹底している。 ④新職員に対しては新人オリエンテーションを実施している。	○	移動、配置換え時はユニットへの体験、マニュアル、インフォメーションカードで周知を図っている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
17	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	①新職員受け入れ時は1ヶ月、3ヶ月で評価と面談をしている。 ②研修の計画と案内を行っている。 ③随時研修に参加させている。 ④研修後、復命書と報告書を作成している。 ⑤伝達研修を行い全員に周知している。 ⑥研修参加の為にシフト表を調整、配慮している。 ⑦包括支援センター、訪問看護、ホームDrより助言を得ている。	○ なるべく多くの研修に参加させ、意欲的に取り組んでいけるようにしたい。
18	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	①「青森の認知症ケアを考える会」に参加している。 ②ホーム間の相互訪問を行い、相互評価を実施している。 ③総合評価後、内部伝達をしている。	○ 他ホームへの見学、他ホームよりの見学を受け入れ交流を図れるようにしている。
19	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための良好な工夫や環境づくりに取り組んでいる	①月1回の職員会議や日々の業務で気付きがあれば、都度対応している ②職員の提案、思いを形に出来るようなシステム作りをしている。 ③休憩時間、場所を確保できている。	○ 得意項目、力量に配慮し業務体勢作りをしていきたい。
20	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	①家庭環境に配慮したシフト作りをしている。 ②定期的な健康診断、予防接種を実施している。 ③1カ月の所定労働時間を厳守している。 ④有給休暇をとり易い環境を作っている。 ⑤介護福祉士資格を目指させている。	○ ・やりがいと働きやすい環境作りをしていきたい。 ・緊急時には各ユニットの応援を可能にしている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
21	○初期に築く本人、家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人、家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	①プライバシーに配慮して、話を聞いている。 ②入居者様から希望及びニーズを傾聴にて対応している。 ③御家族様から希望及びニーズを傾聴にて対応している。 ④管理者不在時は、連絡の必要性を聞き対処している。	○ ・アセスメント後は報告文にて1、2F全職員が周知できるようにシステムにしている。 ・緊急時には各ユニットの応援を可能にしている。
22	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	①待機、緊急性を見極めている。 ②介護サービスの対象になるか判断している。 ③混乱事例時等、地域包括センターへの相談をしている。 ④他のサービスを受けられるよう、地域包括センターへ相談をしている。	○ 「傾聴」する姿勢で聞き名刺、パンフレットをお渡ししいつでも相談できるようにしている。
23	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	①入居前後の家族との連携を図り「自宅」と変わらない環境づくりをしている。 ②入居1週間は状態報告で連絡を入れている（報告の有無は事前に聞く）。 ③入居するまで、随時ホーム見学等の機会を設けている。	○ 職員へは入居者の個々を理解し、対応する事を職務とするよう指導している。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
24	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	①自宅にいた時となんら代わりのない生活が出来るよう配慮し、本人らしい生活が出来るよう支援している。担当職員をつけ個々関わりを重視。生活歴、家族情報で主役になれる場を作る。体調、意思を重視し対応している。 ②役割作り、得意なもの、好まないもの等を事前に調査し把握した対応を心がけている。	○ 個々に主役になれる場作り、他入居者との仲間作りを心がけていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	①ホームで解決しようと思わず家族の意見、言葉を大事にしている。 ②面会時は些細なことでも報告させていただき喜怒哀楽を共有している。 ③利用者様第一として、共に考えていく。	○	キーパーソンのみならず本人との位置関係を把握し本人を支える関係を築きたい。
26	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	①傾聴にて対応し、把握に努めている。 ②定期的にホーム便り、年賀状の発送。 ③行事への参加を促している。 ③家族写真を飾り「一人ではない」環境を作っている。	○	入居時は家族写真を持参していただいている。
27	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	①お寺参り、墓参り、病院見舞い等の外出を支援している。 ②随時、電話や手紙などで交流の継続をはかっている。 ③職員同行にて対応している。	○	職員は家族として、一緒に考え係るようにしていきたい。
28	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	①役割づくりをし全員が主役になれる場面作りをしている。 ②人間関係を把握し食席等の配慮をしている。 ③トラブル時は気分転換の介入をしている。 ④個々の持っている能力を引き出し、より良い人間関係を築けるようにしている。	○	居室変更時は家族へ相談し了解を得ている（本人へも）
29	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	①定期的な訪問をしている。 ②先方ケアワーカーと連絡を密にし、不安要素の軽減に努めている。	○	退去者といつまでも係りを持っていきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
30	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	①一人一人に合わせた起床、就寝時間等があり、個人の生活スタイルを尊重している。 ②都度、申し送り時に情報を共有し対応に努めている。 ③家族からの情報をお聞きし、本人の意思が尊重されるようにしている。	○ たまにいらっしゃる（キーパーソン以外）家族の情報も得るようにしている。
31	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	①他入居者様との会話の中にも、生活スタイルの把握、本人の意向を察知出来るようにしている。 ②入居時の本人及び家族から、生活歴、地域とのかかわりをお伺いしている。 ③入居時の本人、家族からの情報を元に尊厳を傷つけないケアをしている。 ④面会時の家族情報を密にし職員間の情報を共有している。	○ 個々の入居者様の「自分史」を作成していきたい。
32	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	①個々の生活時間を把握し、チェックしている。 ②個々の生活する能力を把握し、対応している。	○ 個々の能力を把握し、引き出せるよう支援する。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
33	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	①本人、家族の了解を得、要望・希望をお聞きしている。 ②担当職員を主とし、他職員も参加している。 ③ADLの変化に応じて、家族及び全職員で対応している。 ④利用者様のニーズに沿って、計画している。	○ 職員間でもレベルの差があり、今後計画書の見直しを検討したい。
34	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	①介護計画、実施期間を明示している。 ②実施期間終了後、見直しをしている。 ③随時見直しを行っている。 ④再アセスメントを行っている。 ⑤希望時及び変化のあった場合、計画見直しに取り組んでいる。 ⑥柔軟かつ臨機応変に対応できる計画を行っている。	○ アセスメントフォーマットを見直したい。
35	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	①ケース記録に具体的に記録している。 ②記載に職員間でバラつきがある。 ③月1回の職員会議等で、行っている。 ④記載内容にバラつきがあり、一定の書式で統一されていない。	○ ケース記録の見直しを検討したい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
36	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	①医療連携を図り月2回の健康チェックを実施している。 ②緊急時の連絡とアドバイス等の連絡網の整備が出来ている。	○ 今後、短期利用の受け入れも検討していきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
37	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	①ボランティアによる活動があり、入居者様は楽しみにしている。 ②図書館より、本や映画のビデオを借りてきている。 ③地区消防団と連携し、防災訓練を実施している。	○ 行事等にOB職員がボランティアで参加してくれている。
38	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	入居後も担当ケアマネとの連携を図っており、また理容サービスの訪問を受け入れている。	○ GH入居中、どのようなサービスが受けられるか思案したい。
39	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	①成人後見人制度を利用している入居者様が、適切なホームの利用が出来るよう、連携をはかっている。 ②地域包括支援センターへ相談しやすい環境にあるので、混乱事例などのアドバイスを受けている。	○ より一層の連帯と支援協力体制を構築していきたい。
40	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	①アセスメントにて把握している。 ②本人、御家族が希望する医療機関での受診が受けられるようにしている。 ③ホームDrの往診にて対応している。 ④御家族に同行受診をお願いし、情報の共有をはかっている。 ⑤受診前後の情報伝達を密に行っている。 ⑥受診後は家族への報告をし、共有が図られている。	○ 御家族へは、入居者様の状態変化にそった医療機関の検討と提案をしていきたいと考えている。
41	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	①つくしが丘病院との連携が出来ており、相談しやすい環境となっている。	○ つくしが丘病院の研修会へ、継続して参加していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
42	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	①月2回の訪問看護で、入居者様の日常の健康管理と医療支援をしている。 ②24時間緊急時の連絡が可能となっている。	○	・訪問日以外でも、アドバイスをいただいている。 ・今後、訪問看護と連携して、もっと内容を充実させたい。
43	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	①入院時は病院側と連携を取り相談、報告を密に取り連携できている。 ②職員が随時、入居者様に面会に行き、状態変化によるプランの変更と家族の意向を反映させている。	○	退院時家族と一緒にDrからの申し送りをお聞きし連携を図りたい。
44	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(1)重要事項説明書で内容を明確にしている。 (3)入居時「重度化した場合」の説明をし考えを聞いている。	○	開設してからホームで終末期を迎えた方はいないが主治医、訪看との連携をもち安心できる終末期を一丸となり見守りたい。
45	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	①家族、入居者との十分な話し合いを設けたい。 ②主治医、ホームDrとの連携を図りたい。 ③職員間の不安を解消できるサポートをしたい。	○	・「出来ないこと」は家族、職員と共に考えて行きたい。 ・本人の意思を尊重したい。
46	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	①本人、家族とも、ダメージを受けないようフォローアップしている。 ②退去時は、本人、家族との話し合いを多く設けている。 ③退去先とのケアワーカーとも、連絡を密に情報交換している。	○	良い一層のフォローケアに努めたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
47	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	①会話時は傾聴、受け入れを重視した対応をしている。 ②介助時や居室への出入り時のマナーを周知徹底している。 ③入居者様を人生の先輩として敬うようにする。 ④ケースへの記載時は他者の情報が入らないようにしている。 ⑤入社時オリエンテーション項目へも「個人情報」として退職後であっても、情報を漏らさないよう指導している。 ⑥個人情報漏洩が発生しないよう保管および管理を徹底している。 ⑦個々の入居者様にそった対応をしている。	○ ボランティア実習生には、ホームでの個人情報は口外しないよう説明している。(守秘義務の徹底)
48	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	①把握し対応している。 ②五感を働かせ、対応している。 ③行事参加への有無、飲み物を選択していただく等自己決定を促している。 ④複数の選択肢を設け、対応している。	○ 家族のような接し方になることもあるので言動に気をつけるようにする。
49	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	①起床、就寝時間等を本人に合わせる。 ②朝食時間、買い物希望等本人の意向に合わせている。 ③都度、希望、状況に合わせて対応している。	○ 業務がスムーズに行えるよう、日頃の職員の健康管理、ストレス回避等自己管理に努めたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
50	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	①本人の好みを尊重している。 ②衣類は季節毎に、入れ替えをしている。 ③美容院等と同行し支援している。	○ 入居時、理・美容に関する情報をいただき本人の意思を尊重している。
51	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	①食材担当職員が、定期的に食に関する意見を調査している。 ②一緒に食事の準備、跡片付けをしている。 ③昼食は、入居者さんの間に席を設け、一緒に食事をしている。 ④食べこぼし、むせへの観察、対応をしている。	○ 急な食事が必要であっても対応が可能となっている。
52	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	①嗜好にあわせた配慮がされている。 ②行事等に合わせたメニューを提供している。 ③業者と連携をとり食の安全に取り組んでいる。	○ ・糖尿病の方もいるのカロリーの管理をしている。 ・カロリーセーブの方であっても対応が可能。
53	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	①排泄表で記録し、各入居者様の排泄パターンを把握している。 ②個々に対応している。 ③該当者なし ④声掛け時の羞恥心、プライバシーへの配慮をしている。	○ ・居室にある排泄用品は、視界に入らないよう、プライバシーの配慮をしている。 ・処分時は、新聞紙に包み対応している。
54	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	①個々の湯加減、入浴方法に配慮し対応している。 ②入居者様の希望やタイミングにあわせて、シャワー浴、足浴等を実施している。 ③同性介助に努めている。 ④御家族の協力を仰いでいる。 ⑤風呂場に時計を設置し配慮している。	○ ・入浴時間、曜日が決められているので改善していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
55	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	①昼寝などの促がしを行っている。 ②個々の睡眠パターンを把握し、対応している。 ③日中の日光浴、活動等を支援し夜間は熟睡できるように支援している。 ④Drとの眠剤の調整、明かり、音にも配慮している。 ⑤都度、状態に応じて対応している。	○	消灯しないで就寝される入居者様もいるので、巡回時等、職員の方で配慮し対応している。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
56	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	①希望する入居者様に家事作業等に参加していただいている。 ②行事や家事作業の際、能力が発揮できる役割を促がしている。	○	役割分担の際、トラブルが起きないように配慮していきたい。
57	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	①金銭管理の重要性を理解している。 ②入居費の引きだし、支払い、小遣いの出し入れの際は、確認を一緒にしている。 ③買い物の際、入居者様に支払いをしていただいている。	○	・買い物の希望については、出来るだけその都度対応していきたい。 ・金銭管理は、家族の確認後サインを頂いている。
58	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	①天候を見て、散歩等に出かけている。 ②買い物等の促がしをしている。 ③徒歩または車で外出している。 ④散歩の時間等、配慮している。	○	・団体、遠出を好まない方へも配慮している。 ・外出に参加されない時は、ホーム待機者を置き、安心していただいている。
59	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	①ドライブまたは行事の際、入居者様の希望を取り入れている。 ②行事等の際、希望を汲み取れるよう促がしている。 ③墓参り等の遠方への外出も個別に対応している。	○	普段からコミュニケーションを図り行って見たい、又行きたいところを聞き状況を把握している。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	①事前に家族へ電話連絡が可能か確認し、時間帯等を配慮して電話していただいている。 ②入居者さまの希望が有る場合、その都度対応している。 ③会話内容、通信内容のプライバシーを守っている。	○	電話、手紙で気持ちを伝えることが出来るよう支援していきたい。
61	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	①面会は24時間可能となっている。(但し施錠時間が設けられている。) ②快く受け入れ、お帰りになる際もお見送りし、又、面会に来ていただきたい旨をお伝えしている。 ③居室面会を促がしている。 ④家族の宿泊事例はないが対応していきたい。 ⑤家族の寝具・食事の提供の事例はないが対応していきたい。	○	事例はないが、御家族様の宿泊等に今後対応していきたい。
(4)安心と安全を支える支援				
62	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	①身体拘束の内容および弊害について理解している。 ②鍵のみではなく座らせきり、無意味な施錠も拘束となることを周知させている。 ③ケース記入を行っている。 ④身体拘束必要時の同意書を完備している。	○	入居時の説明時には、施錠・拘束に関して、説明をしている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
63 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	①玄関の施錠時間を21:00から6:00までとし、それ以外は人員が確保できない場合のみ施錠している。 ②浴室・脱衣所のみ施錠行っている。 ③外出傾向が察知できるよう、対応している。 ④外出希望時は、散歩等で気持ちを紛らわせるようにしている。 ⑤都度説明し、御家族様の同意を得ている。 ⑥地域の方々にホーム行事へ出来るだけ参加していただき、入居者様を覚えていただいている。	○	目配りが必要な方に対しては、玄関ドアに鈴をかけて対応している。
64 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	①職員が事務所内にこもらないようにし、ホールを無人にしないよう対応をしている。 ②全体を見渡せ、書き物が出来るよう工夫がされている。 ③設備がない為、該当しない。	○	人的配置で動くよう、指導している。 例：ゴミだし時、ホール人員を確認し外に出る。
65 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	①洗剤等は入居者さんの手の届かない、施錠が可能な場所への保管としている。 ②必要な事柄は再検討し、必ず申し送りしている。 ③包丁は夜間施錠棚に収め施錠し、刃物本数を明確にしている。	○	マニュアルに添った取り決めをし、安全な場所への保管をしている。


項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	①予想ヒヤリハットを作成、職員間で情報共有し検討している。 ②ヒヤリハット記録・事故報告書は、全職員が閲覧し、職員会議時に事故症例を学んでいる。 ③書類の様式が整備されている。 ④事故報告書を回覧し、再発防止に努めている。 ⑤都度、事例検討会を行っている。 ⑥ファイリングし、常時閲覧出来る状態で保管している。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・予想ヒヤリハット委員会を発足させた。 ・事故症例の学習会を行っている。
67 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	①緊急マニュアルを常備し、周知を図っている。 ②入社時、救急救命講習を義務付けている。 ③年2回避難訓練を実施している。	○	随時、マニュアルを整備している。
68 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	①夜間を想定した訓練を行っている。 ②夜間を想定した訓練も含む年2回の避難訓練を実施している。 ③年2回の避難訓練には、消防署、地域住民の方々にも参加していただいている。 ④現在、検討中。	○	災害時の家族連絡、協力、受け入れの有無を整備する予定。
69 ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	①面会時状態報告をし、理解を得ている。 ②状態変化時は見直しを行っている。	○	想定できないものもあるので日頃の家族とのコミュニケーションを密にしたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
70	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	①アレルギーの有無を把握している。 ②既往症、持病を個人ケースで確認できるようにしている。 ③状態変化時、記録を残して職員間の情報共有をはかり、医療機関に相談している。	○ 夜間でも緊急連絡網で対応できるようにしている。
71	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	①薬品カードを個人ケースに保管し、薬の内容、副作用を周知している。 ②職員同士で服薬確認をしている。 ③薬の変更時は、個人ケースと申し送りに記載し、全職員に周知徹底をはかっている。 ④状態変化時は家族連絡し、記録を残して職員間の情報共有をはかり、医療機関に相談している。	○ ・副作用の関心、理解を深めて行きたい。 ・薬辞典を準備している ・取引先の調剤のアドバイスが受けられる(24h)。
72	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	①便秘の原因や影響を理解している。 ②排泄表で把握し、便秘対応のメニューで対応している(乳製品・繊維製品)。 ③排泄パターンを把握し、1日の水分量をチェックし、自然なお通じを心がけている。 ④下剤処方されている方は調整し、状態を見ている。	○ ・起床時の冷水対応をしている。 ・個々に便秘対策、飲み物を準備されている。
73	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	①口腔ケアの必要性を理解し、実践している。 ②毎食後、個々の口腔ケアを行っている。 ③個々にあった歯ブラシ、歯磨きの購入し使用している。 ④声掛けを積極的に行い、実践している。	○ ・個々にあったブラシ、歯磨きを使用していたが、週一回口腔ケアグッズの消毒を行っている。 ・歯科往診の可能な為、Drとの相談も可能である。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	①メニューは栄養士が管理しカロリー計算できている。 ②1日の総摂取カロリーを把握し、個別にケースに記録している。 ③1日の水分摂取量を個別にケースに記録している。 ④体調不良時は、必要に応じてケースに詳細を記入している ⑤定期的に栄養士と協議し、改善をはかっている。	○	・2ヶ月ごとの栄養士との話し合いがあり、希望を取り入れてもらっている。 ・終了後、会議録に記録し周知している。
75 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	①感染マニュアルを設置している。 ②市からの情報を各ユニットへ提供し、見直しをしてから保存版としている。 ③外部研修に参加し、伝達内部研修を行っている。 ④感染症の最新情報を常に収集し、対応している。 ⑤ホーム便り、薬局便りを定期的に御家族様に配布している。	○	・玄関、洗面所に手指消毒を設置している。 ・インフルエンザ等の流行時は、玄関に明記し、情報を周知させたい。 ・職員へは手洗い、うがいが一番の予防であることを周知させている。
76 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	①キッチン衛生管理表にて、毎日夜勤帯で衛生管理を行っている。 ②掃除消毒等を実施後、キッチン衛生管理表にチェックし、職員同士で確認をしている。 ③週1回、冷蔵庫と台所の徹底した掃除を行っている	○	食事作りの際、専用のエプロン、バンダナの装着を義務付けしている。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
77 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	①玄関に入りやすい雰囲気のプレートを設置、近隣と違和感がない外壁となっている。	○	・「お気軽にどうぞ」の看板も設置し入りやすい雰囲気を作っている。 ・花を飾って親しみやすさを出している。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	①季節毎の絵を飾っている。 ②職員の履物は、音が出ないものを準備してもらっている。 ③個々に併せて、適切に対応している。 ④季節毎、調整し対応している。 ⑤季節を感じられる居室飾りを毎月作成している。	○	各居室表札に季節毎の飾り付けをしている。
79 ○共用空間における居場所づくり 共用空間の中には、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	①個々のプライベートが保てるよう、職員が調整し対応している。 ②リビングがあり食事後くつろげる空間がある。 ③喫煙場所があり時間を決め対応している。	○	食事席も気の合う方が、同席できるよう工夫している。
80 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	①入居時なじみの物など持参していただけるようにしている。 ②担当職員が入居者様に合った居室作りをしている。	○	居室入口のデザインが同じなので、表札をつけて対応している。
81 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	①居室の温度・湿度をチェックする際、換気を行っている。 ②毎日4回、各居室の温度・湿度を記録し、温度調節に配慮している。 ③SHS工法により24時間温度差がなく、温度・湿度が管理できている。	○	不備時は、早急な対応が可能となっている。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
82 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	①廊下、トイレ、浴室には手すりが設置されている。 ②バリアフリーの施設だが、随時観察している。 ③設備は全て対応している。物干しに関しては、洗濯乾燥機を利用している為、この限りではない。 ④車椅子は常に使用できるよう準備している。 ⑤ベッドの位置変更やに手すり取り付けで、対応している。	○	不備時は、早急な対応が可能となっている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	①随時、見直しをしている。 ②居室入口に表札をつける等の工夫をしている。 ③トイレ、浴室が分かるように明示し、混乱を招かないようにしている。	○	居室入口には表札があり、混乱を招かないようにしている。
84	○建物の活用 建物を利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	①花壇に木を植え、入居者様の水やりが日課となっている。玄関に縁台があり休息できるようになっている。	○	花壇の草取りも日課のひとつとなり、作業をしながら成長を楽しんでいる。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
85	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
86	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
87	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
88	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
89	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
90	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
93	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
94	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
95	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
96	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
97	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

住民地区の方々の協力を得られており、また地域資源を積極的に活用している。
ヒヤリハット委員会を設置し、全職員が事故防止に積極的に取り組んでいる。
入居者様を職員が人生の先輩として敬い、学ばせてもらっている。